

アサイーやベリー系の果実を新たに配合！ 機能性表示食品「赤の恵み青汁スッキリーナ」新発売！

「いつまでも健康・いつまでもキレイ」をコンセプトにするティーライフ株式会社は、機能性関与成分“葛の花由来イソフラボン”を配合した「メタボメ青汁スッキリーナ」の新味を2022年4月1日に新発売しました。



- ミックスベリー味の青汁スッキリーナが登場！

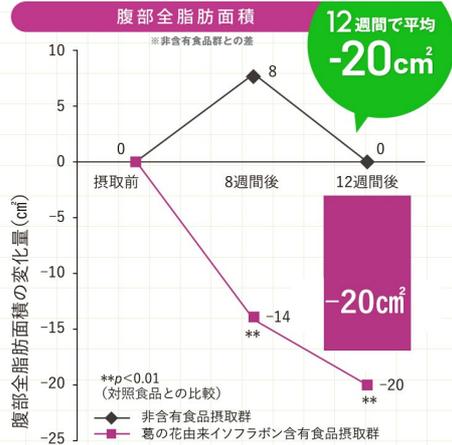
「おうち時間が増えてお腹の脂肪が気になる…」 「生活スタイルは変わってないのにウエスト周りがきつくなってきた…」 こんなお悩みを感じている方に人気の【メタボメ青汁スッキリーナ】に、ミックスベリー味の【赤の恵み青汁スッキリーナ】が新登場しました。

カシス、ローズヒップ、ブルーベリー、レッドラズベリー、アロニア、リンゴンベリー、アサイーを新たに加え、甘酸っぱいフレッシュな果実感をお楽しみいただけます。

- 機能性関与成分「葛の花由来イソフラボン」、不足しがちな「鉄」を配合

古くから和漢植物として親しまれてきた葛の花。そこから抽出された葛の花由来イソフラボンは、研究レビューで肥満気味な方の体重やお腹の脂肪（内臓脂肪・皮下脂肪）、ウエスト周囲径を減らすのを助ける機能があることが報告されています。

葛の花由来イソフラボンによる
研究レビューで評価！



高野ら:応用薬理,93(1/2),1-6,2017より作図

*届出に使用した研究論文のうち、代表的な1報を実例として提示しています。

*研究レビュー採用文献のうち、商品と同量の葛の花由来イソフラボンを摂取させた臨床試験の結果、試験開始前と同様の生活を送ること、多量のアルコール摂取をしないこと、夕食後2時間以内に就寝しないこと、22時以降は間食も含め食事をしないこと、各食事の間隔を3時間以上あけることなどを、試験期間を通じての注意事項として被験者に説明した。

また9種の野菜や健康をサポートする成分にプラスし、女性に不足しがちな「鉄」を新たに配合しました。

- 毎日おいしく健康対策

不足しがちな栄養も補給しながら、肥満気味の方のお腹周りの脂肪対策ができるスッキリーナは、水にサッと溶かすだけでスムージーのような感覚で飲んでいただけます。気分によって味を変えながら、ぜひ毎日の健康にお役立てください。

【商品詳細】

<https://www.tealife.co.jp/products/detail/25024>

【商品スペック】

価格：5,080円（税込）

内容量：1袋(6g)×30袋入

カロリー：1食(6g)当たり17kcal

賞味期限：製造日より2年

1日摂取目安量：1日当たり1袋を目安にお召し上がりください

摂取の方法：1袋を約100mlの水等に溶かしてお召し上がりください

原材料：澱粉（国内製造）、ポリデキストロース（水溶性食物繊維）、オート麦食物繊維、りんご食物繊維、葛の花抽出物、ブルーベリー濃縮果汁末、バナナ末、りんご果汁末、アセロラ末、カシス抽出物、ケール末、コマツナ末、コラーゲンペプチド（ゼラチン含む）、セロリ末、ヒアルロン酸、ハウレンソウ末、ボタンボウフウ（長命草）末、ローズヒップ末、果汁混合末、大麦若葉末、豚胎盤抽出物／増粘多糖類、ビタミンC、酸味料、甘味料（アスパルテーム・L-フェニルアラニン化合物、スクラロース）、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、香料、ベニコウジ色素、クエン酸カルシウム、ビタミンB2、ビタミンB6、ピロリン酸第二鉄

■アレルギー物質:りんご、バナナ、豚肉、ゼラチン

[届出番号] G748

[届出表示] 本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれます。葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、肥満気味な方の、体重やお腹の脂肪（内臓脂肪と皮下脂肪）やウエスト周囲径を減らすの

を助ける機能があることが報告されています。肥満気味な方、BMIが高めな方、肥満気味でお腹の脂肪やウエスト周囲径が気になる方に適した食品です。

- ・ [機能性関与成分名] 葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）
- ・ [機能性関与成分量] 葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）22mg（一日目安中の含有量）
- ・ [問い合わせ先電話番号] 0120-59-8172
- ・ [ホームページ] <https://www.tealife.co.jp>

●本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。

●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

●本品は、疾病に罹患している者、未成年者、妊産婦（妊娠を計画している者を含む。）及び授乳婦を対象に開発された食品ではありません。

●疾病に罹患している場合は医師に、医薬品を服用している場合は医師、薬剤師に相談してください。

●体調に異変を感じた際は、速やかに摂取を中止し、医師に相談してください。

●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000048.000073392.html>

ティーライフ株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/73392

【ご連絡先】

ティーライフ株式会社

広報担当：望月(kouhou@tealife.co.jp)

TEL：0547-46-3979 FAX：0547-45-5855